



公益財団法人  
福岡県スポーツ協会  
Fukuoka Sports Association

# 福岡県スポーツ協会レポート

令和3年11月22日 担当：福岡県スポーツ協会事業課

令和3年度選手強化指導者研修会  
11月18日（木）開催の標記研修会について  
お知らせします。

今回3名の講師をお招きし、令和3年度選手強化指導者研修会（主催：福岡県選手強化推進実行委員会、（公財）福岡県スポーツ振興センター、（公財）福岡県スポーツ協会、福岡県高等学校体育連盟、福岡県中学校体育連盟）を開催した。県内各競技団体及び高体連、中体連の指導者87名が参加し、有意義な研修会となった。

東京ガスケミカル（株）取締役常務執行役 阿久根 謙司 氏  
アスリートの自立を引き出すコーチングについて講演していただいた。現代の選手を取り巻く環境や選手の自発性を引き出すためのアプローチについてお話があり、One to Oneセッションの実践演習を行うなど多くの学びがあった。



男女7人制 TID ディレクター 徳永 剛 氏  
女子ラグビー7人制日本代表のオリンピックへの挑戦について講演していただいた。選手への指導について、トレーニングだけでなく教育プログラムを多く取り入れることで「豊かな人間性」を育むことにつながり、一貫したアプローチを行っていくことも重要であると学んだ。

了徳寺大学教授  
NPO 法人スポーツコーチングアカデミア理事長 石井 孝法 氏  
スポーツ医・科学を含めた情報の活用方法について講演していただいた。チームをサポートするスタッフとして、監督、コーチの方向性とニーズを確認する機会を増やしていくことが重要であり、サポート体制についても世界一を目指していくことが大切であると学んだ。



今回の研修を通して、選手を育成していくためには技術だけでなく、内面的な人間性を育んでいく指導を行っていくことが必要である。また、選手・監督・コーチを始めとするすべてのスタッフが組織として選手を育成強化していくことが大切であると感じた研修であった。